



準備力

以前弊事務所で、遠藤友彦さん（考える野球セミナー（野球指導者塾）主催。かつて高校時代の田中将大投手も指導された。）に「準備力」をテーマにご講演していただいたことがあります。去る9月12日、土田正剛前東根市長のお別れの会に参列いたしました。正にこれを思い起こさせる会でした。

この向日葵だより（6月10日発行）で黒沼会計士が後輩としての思い出を語っておりますが、私は東根市在住で東根市の事業に少し関わらせていただいた経緯があり参加したところ、お別れの会に準備力を感じ、書かせていただくものです。

お別れの会は、市の施設である「タントクルセンター」（子育て支援・保険福祉の拠点施設）内のホールで行われました。まず名誉市民の授与式、続いてお別れの会。吉村山形県知事、鈴木農林水産大臣（当時）、佐藤山形市長や同僚県議会議員だった方など多数の方が弔辞を述べられました。型通りのものばかりではなく、個人的なエピソードや思い出にあふれたものが本当に多く、聞いている私も心を動かされるものがありました。土田前市長の業績と人間的な魅力がそうさせるのでしょう。会の最後に献花で御冥福を祈って参りました。

この式典では大変多くのスタッフが動いていました。駐車場の誘導、会場案内、ステージ設営、終了後の誘導など数多くの役割がありましたが、スタッフの方々の動きがキビキビとしており、スムーズで迷いやゆるみが無く、最初は専門業者の方だと思いました。

しかし聞いてみると、ほぼ全て市役所職員による手作りだったようです。おそらく自前でやることを最初に決め、それで最大限できることを計画・準備したと想像します。前市長に対する尊敬の念はもちろんのこと、前市長のご遺族や多数のご来賓・市民に参加していただく以上絶対に成功させるという強い思いがあったでしょう。そうして打ち合わせや予行演習を何度も行い、さらに警察との協議を重ねたのだと思います。その結果、「水が流れるように」スムーズに進行し、参加者である私は「お別れ」に没頭できました。

10月4日で幕を閉じたアジア競技大会での様々な運営上の不手際の報道に接するにつけ、尚更「準備力」が頭に浮かびました。もう一度この本を読もうと思うところです。



消費税率引き下げ対応のための「事前着手制度」

令和9年4月より消費税率の引下げを行う方針が、大綱の閣議決定により示されました。国会での成立前ですが、あと半年しか無く、現場対応を早めに着手する必要があります。このため中小企業庁は、「デジタル化・AI導入補助金」において、事業者が先にスマートレジの導入やPOSレジ等の改修を行い、事後に補助金申請（受付は来年1月1日）ができる事前着手制度を設けます。

制度詳細は今後事務局ホームページで発表されますが、対応を検討される事業者の方は早めにメーカー等に問い合わせされることをお勧めします。

- ・スマートレジとは → タブレットやスマートフォン等にインストールされて利用されるレジ
- ・補助金の対象となる製品 → あらかじめ国の担当事務局に登録されたものに限定
- ・補助対象者 → 中小企業者（最大350万円で3/4補助）、小規模事業者（同 4/5補助）

中小企業庁サイト <https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/gijut/2026/260915001.html>（植村）

